

災害に強い海岸防災林の再生を目指して 11月26日(木)第2回「千葉県九十九里浜植樹」を実施

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役）は11月26日（木）に第2回「千葉県九十九里浜植樹」を実施します。

九十九里浜地区の海岸県有保安林は、松くい虫被害や湿地化により疎林化が進み、また、東日本大震災では津波被害に遭いました。そこで当財団は、病虫害・台風津波などの災害にも強い海岸防災林の再生を目指し、2019年から3年計画で植樹を実施しています。昨年は、県内外のボランティア1,000名の皆さまとともに、抵抗性クロマツやウバメガシなど10,000本を植樹しました。

今回は、コロナ禍において再開する植樹活動となることから、3密を避けるなど新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策のうえ実施します。イオン従業員100名が2,000本を植樹し、昨年の植樹地の補植や下草刈りのメンテナンスを行います。なお、今回の苗木は、イオンで7月に発売されたジミー大西氏デザインの「トップバリュ リサイクル原料を使ったマイバッグ」（吉本興業協賛デザイン）の売上金10%を活用いたします。

当財団は、いのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、今後も植樹をはじめとする環境活動を積極的に推進してまいります。

記

日 時： 2020年11月26日（木） 10:30～12:00
場 所： 千葉県山武市蓮沼ホ字矢指27-7（蓮沼海浜公園隣接地）
参加人数： 100名
植樹本数： 2,000本
樹 種： 抵抗性クロマツ・マサキ・トベラ・アキグミなど
植樹面積： 0.65ha
主 催： 公益財団法人イオン環境財団
協 力： イオン株式会社・イオントップバリュ株式会社
主な出席者： 千葉県山武市 市長 松下 浩明 様
（予定） 千葉県農林水産部 北部林業事務所 所長 西野 文智 様
イオン株式会社 執行役 三宅 香
イオントップバリュ株式会社 副社長 横山 憲男
イオンリテール株式会社 東千葉事業部長 佐藤 大
公益財団法人イオン環境財団 専務理事 山本 百合子

以上

ご参考

■公益財団法人イオン環境財団について

1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立され、本年で30年を迎えました。時代とともに変化する環境課題に応じた事業を継続実施しており、現在は「イオンの森づくり」・「助成」・「環境教育」・「パートナーシップ」の4事業を中心にステークホルダーの皆さまとともに環境活動を進めています。

＜公益財団法人イオン環境財団ホームページ : <http://www.aeon.info/ef/> >

■イオンの森づくり

各国政府や地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。これまでの30年間、世界11カ国で植樹を行い、イオンの累計植樹本数は1,212万本を超えています。

＜千葉県における森づくり＞



浦安市 (2015年)



千葉市 (2018年)



九十九里浜 (2019年)

2013年～2015年 浦安市植樹

東日本大震災時の液状化で噴出した土砂の処理が深刻な課題となっていたことを受け、この土砂を土壌の盛土として活用する植樹活動を実施しました。2013年から2015年の3年間の活動を通じ、2,100名のボランティアの皆さまと合計18,000本を植えました。

2016年～2018年 千葉市植樹

2016年に、千葉市富田都市農業交流センターで、第1回「千葉市植樹」を実施しました。地域の皆さまやイオンチアーズクラブの子どもたちなど1,200名のボランティアの皆さまとクヌギ、コナラ、ヤマザクラなどの広葉樹8,000本を植えました。第2回は2017年に、第3回は2018年に泉自然公園（千葉市若葉区）で、野鳥の森の再生を目指し、植樹を実施しました。2年間で1,600名のボランティアの皆さまと合計17,000本を植えました。

■イオンの里山づくり

時代に即した環境課題の解決を目指すため、2020年9月、早稲田大学内に「AEON TOWA リサーチセンター」を設立しました。本リサーチセンターは、これまでの経験や知見、学術研究を統合し、持続可能な社会の実現を目指していくものです。森づくり、地域づくり、人づくりに取り組み「地球環境の持続性」「人と生活の持続性」「地域社会の持続性」という観点から、新たな「イオンの里山」の構築を目指します。

＜トップバリュ リサイクル原料を使ったマイバッグ 吉本興業協賛デザイン＞



2020年7月から全国の「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」など約3,000店舗にて数量限定で発売。バッグ本体部分（持ち手部分は除く）にリサイクルプラスチックを約50%使用しています。正面のデザインは、ジミー大西氏がデザインされたもので、タイトルは「朝の光」です。